

コロナ禍

物価高の下での生活苦——

暮らしを守る政治へ 大転換を

11月、広島、山口、島根各県の党代表団が相次いで上京し、政府への要請行動にとりくみました。大平よしのぶ元衆議院議員、仁比聡平参院議員も同席。コロナ禍と物価高騰が続きますますます深刻な生活苦が広がる中、生の声や実態を届け支援強化を求めるとともに、「岸田政権には任せられない」「政治の大転換を」との思いも一層強くしました。

各 県 政 府 交 渉



広島
(11日)

藤井とし子・河村ひろ子両県議予定候補を先頭に、コロナ禍で苦勞を続ける介護施設への感染対策と減収補てん、土砂災害防止へ砂防ダム建設の迅速化、物価高騰に苦しむ中小業者支援など要請。



島根
(17日)

新型コロナ対策の充実・強化や学校給食の無償化、水田活用直接支払交付金の見直し撤回、江の川の早期改修、島根原発の再稼働中止などを要求。県下地方議員ら9人が現場の実態を届けました。



山口
(21日)

県議ら5人が上京し、米軍岩国基地の機能強化と爆音問題、下関北九州道路、長生炭鉱事故犠牲者の遺骨収集、上関原発新設計画など、18分野56項目にわたる交渉。重要な成果も。

脱炭素社会、地域再生へ JRローカル線調査 第2弾

今回は岡山県内で赤穂線と因美線、姫新線の調査。赤穂線はこの数年間で上下あわせて10本の減便が行われ、駅員がいなくなりました。瀬戸内市の担当課から話を聞き、「みんなで守る赤穂線の会」の皆さんと懇談。高校生たちの通学や身体障害者の乗降の不便さ、新幹線や定期券の購入の困

難さなどが共通して語られました。

津山観光協会で因美線や姫新線の現状と利用促進への努力についても伺いました。

脱炭素社会や地域再生・町おこしにとっての鉄道の重要性を再確認。津山駅から真庭市の久世駅までは姫新線に乗って移動しました。



「みんなで守る赤穂線の会」の皆さんと



津山観光協会と

